



平成 23 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 大日本住友製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 多田 正世
(コード：4506、東証・大証第 1 部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 樋口 敦子
(TEL. 06-6203-1407)

平成 23 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 23 年 2 月 3 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	365,000	22,000	19,500	11,000	27 円 69 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	379,000	29,000	26,500	15,000	37 円 75 銭
増 減 額 (B - A)	14,000	7,000	7,000	4,000	
増 減 率 (%)	3.8	31.8	35.9	36.4	
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	296,261	35,624	33,837	20,958	52 円 75 銭

2. 修正の理由

本日発表しましたとおり、武田薬品工業㈱との間で締結した非定型抗精神病薬「ルラシドン塩酸塩」(一般名)の欧州での開発・販売提携に関する契約に基づき、契約一時金 100 億円を当期の売上高・利益に計上します。また、同社の注射用セフェム系抗生物質の国内導入契約に伴う契約一時金 5 億円、インターセプト ファーマシューティカルズ社との導入契約に伴う契約一時金 15 百万ドルなど複数の導入契約締結に伴い支払う一時金等を当期の費用に計上します。また、医薬事業の売上高が前回発表を上回る見通しです。

これらのことから、平成 23 年 3 月期通期連結業績予想を、平成 23 年 2 月 3 日の公表値から、売上高は 140 億円増の 3,790 億円、営業利益は 70 億円増の 290 億円、経常利益は 70 億円増の 265 億円、当期純利益は 40 億円増の 150 億円に修正いたしました。

なお、このたびの東北地方太平洋沖地震による影響につきましては、一部を織り込んでいますが、未だ不透明な部分もあります。業績に重大な影響が見込まれる場合は速やかにお知らせいたします。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上